

こうみょう

第14号

この如来は光明なり。光明は智慧なり。

智慧はひかりのかたちなり。

親鸞聖人著作『一念多念文意』

最近、ご近所の方から「いつも、お寺の掲示板見えていますよ」と言われることが多くなってきました。嬉しいことです。でも、なにより嬉しいのは、感想をお聞きすることです。

「今回のことばは、ちょっと難しいですねえ」

「なんか、じいさんときました」

「住職の感想を持ち帰り、台所の冷蔵庫に貼っています」

「ホント、その通りだなあと感じます」

「今度は、映画のセリフから、お願いします」などなど。

設置してから3年が経ちました。毎月、いろいろな「ことば」を掲げてきました。そして、毎月それぞれの「ことば」に対し、僕なりの感想文を寄せてきました。

「ことば」と向き合い、自分の思いを表現することは、とても難しく、いつも頭を悩ませておりますが、お育てをいただいているなあと実感しています。

これからも、僕自身が心に響いた「ことば」を、お伝えしたいと思っておりますので、楽しみにしていただきたいと思います。



2016年5月 最初の「掲示板のことば」

第14号

2019年7月1日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

メールアドレス：

koumyouji@sky.plala.or.jp

ある日の法話(マ)法事編

セミの話ゆめ

夏になるとセミが羽化し、ミンミン、ジーと鳴き始めます。

私たちは四季を知っていますから、セミは夏に鳴くものだと知っています。でも、セミは夏を知っているのでしょうか？

親鸞聖人が大切にされた、中国の曇鸞大師の著作『浄土論註』には、このような譬えが引かれています。

蟪蛄かいこ春秋しゅうしゅうを識しらず、伊虫いちゅうあに朱陽しゆやうの節せつを知らんや。

【蟪蛄(夏ぜみ)は(夏だけの命で)、春と秋を知らない。季節(春秋)を知らないのであるから、この虫(伊虫)は、どうして今の朱陽(夏)が夏であることを知りえようか】

これは譬えです。何を譬えているかと言いますと、私たちのいのちです。私たちは今、生きていると思っていますが、どこから生まれてきて、どこへ往ゆこうとしているのかを知らないのに、どうして「今」を生きていると言えるのでしょうか、と問われています。

さらに言うと、なぜ今生きているのか、なぜ今生まれてきたのか、生まれた意味は何なのか、そのことが分からないままに生きている私たちは、それで本当に今を生きていると言えるのでしょうか、ということがこの譬えを通して問いかけられているのです。

杉山平一さんに「生」という詩があります。

ものを取りに部屋へ入って

何を取りにきたかを忘れて

もどることがある

もどる途中で

ハタと思い出すことがあるが

その時はすばらしい

身体からだが先にこの世へ出てきてしまったのである

その用事は何であったか

いつの日か思いあたるときのある人は

幸福である

思いだせぬまま

僕はすこすこあの世へもどる

この詩は、生まれたことの意味を尋ねています。どのようなのちにも、生まれてきたことにきつと意味があるはずだと。その意味を知らずに生きることは、虚しいのです。みんな、その意味を求めて生きている。虚しくない人生を生きたいと思っっているのです。

アニメ「アンパンマン」をご存知でしょうか？ やなせたかしさんの作品ですが、その主題歌の歌いだしで、やなせさんはこのようにメッセージされています。

なんのために生まれて

なにをして生きるのか

こたえられないなんて

そんなのは いやだ！



「アンパンマン」は子ども向けのアニメですが、一緒に親も見ます、おじいちゃんおばあちゃんも見ます。みんなと一緒にこの歌を歌うのです。生きる意味を知りたい、と。

誰もが、生まれてきたことの意味を問い、

生きる喜びを求めているのではないでしょう

うか？ でもそれは、今、だけを見ていても

知り得ないことなのです。

生まれるご縁をいただく前は、どこにいた

のか。そして、この身の縁が尽きればどこに

往くのか。杉山さんは、「もどる」と表現されていますが、どのような世界に戻るのか。

その世界を、私たちは浄土と教えられています。亡き方をご縁にして、浄土という世界

に出会い、お一人お一人が、いのちの物語を

紡ぎ、今この世界に生まれたことの意味を尋

ねる、それが仏事をつとめるといふことなの

だと思っっています。

仏事について……ごことが知りたい!

焼香について

施主せしゆの方を中心に、お内仏の前に念珠を持って着座せきざします。座る順番に決まりはありませんが、故人と縁の深い方から座るのが一般的です。

住職が着座し、まず合掌がっしょう礼拝らいはいいたします。住職に合わせて、みなさんも合掌礼拝がっしょうらいはいしましょう。読経が始まりますと、お焼香の順番が回ってきます。

焼香は、仏教の儀式には欠くことのできなものであり、お釈迦さまのご在世の当時から行われていたといわれています。

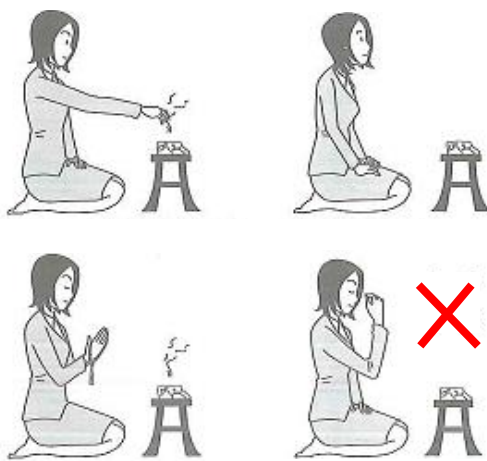
浄土真宗において最も大切なお経の『仏説無量寿経ぶつせつむりょうじゆきやう』には、「一切万物がみな、無量の雑宝ざつぼうや百千種の香かうをもって共に合成ごうせいし、その香かうは普あまねく十方世界じつぱうせかいに薫くんせん」と、薫香くんかう（かおり）をもって浄土のはたらきを教えてくださいます。

つまり香を焚たく（焼香）ということは、その薫香くんかうにより、仏前ぶつぜんを莊嚴しょうげん（おかざり）すると共に、浄きよらかな光明くわうめいの世界せかい（浄土）をおもいうかべる縁ゆかりとなります。

では、焼香の作法について説明します。まず、焼香の順番が回ってきましたら仏前に進み、ご本尊を仰ぎ見て、身を正し軽く頭を下げます。

次に焼香をします。左手を卓しやくに添え、右手で香をつまんで、香炉かうろの中に2回入れます。このとき、香を頂くことはしません。

①ご本尊を仰ぎ見る ②香をつまんで香炉へ（2回）



③念仏を称え、合掌

焼香の時、香は頂かない

最後に、右手の指先で香盒かうしやく（香を入れる仏具）の香の乱れを直してから、静かにお念仏（南無阿弥陀仏）を称となえ合掌礼拝がっしょうらいはいします。合掌を解き、軽く頭を下げた後、席に戻ります。最近では、香炉と香盒を焼香盆しょうかうぼんにのせ順番に回していく”回し焼香”が多いようです。この場合も、作法は同様です。焼香盆が回ってきましたら、先のように焼香します。

（真宗会館発行「仏事一口メモ」より転載）

第2回終活セミナー報告

2019年5月28日（火）、光明寺本堂において「第2回終活セミナー」が開催されました。今回のテーマは、「安心して生きるための、認知症の基礎知識とサポート体制について」と、「安心して生きるための、保険・年金、そして相続について」でした。

認知症については、海辺長寿サポートセンターの村川さんにお越しいただき、身内が認知症だと思われるときの対応についてや、認知症への基礎知識を教えてくださいました。社会福祉協議会からは、江東区での取り組みやサーブス、社協カフェについてお話しいただきました。

有意義な時間で、勉強になりました。認知症については、また、取り上げる予定です。



お盆とお彼岸のお参りについて

お盆やお彼岸に、「ご自宅のお内仏（お仏壇）で、一緒に「正信偈」のお勤めをいたしまし
よう。亡くなったお身内をご縁として、今を
生きる私が、ご本尊（本当に尊いこと）に手
を合わせることは、とても大切なことです。
お内仏（お仏壇）を整え、静かに手を合わ
せるひと時を持つことは、自身の生活を整え
ることにつながります。

- ・お仏壇を見直すことは、生活を見直すこと
- ・いつから始めても結構です
- ・お仏壇が整っているか不安でも結構です

「ご自宅のお内仏（お仏壇）を、私にとって
かけがえのないものに変えていきましょう。

「ご自宅へお伺いいたしますので、日時など、
お寺にご相談ください。



写教の会

教えの言葉を書き写す「写教」の会です。

開催日…7月10日・8月7日・9月18日

水曜日の14時～17時まで開けて
いますので、出入り自由です。

参加費…無料

「正信偈」を書写しますので、筆ペン又は
書道道具をご持参ください。

光明寺同朋の会（法話の会）

親鸞聖人が書かれた「正信偈」には、どの
ような教えが記されているのでしょうか。
少しずつですが、学んでまいります。

開催日…7月27日・8月24日・9月28日

土曜日の14時～16時半まで

法話…光明寺住職

参加費…500円

初回の方はテキスト代600円

※皆さまのご参加をお待ちしております。

体幹らくらくヨガ

お寺で、リラックスした気持ちでヨガを体
験してみませんか。無理なく体を動かしなが
ら、自然と体の内側を鍛えることが出来ます。

開催日…毎月第2火曜日の10時半～11時半

（8月は第1火曜日）

毎月第4火曜日の19時～20時

※月に2回開催しています。

参加費…1,000円

第3回終活セミナー

「終活」とは、やがて終わりを迎える私の
人生に向き合い、心配なことを整理し、今の
いのちを安心して生きて往くための活動で
す。お寺で、一緒に考えましょう。

開催日…8月27日（火）14時～16時

会場…真宗大谷派光明寺本堂

テーマ①「遺言と相続について」

司法書士 保科 仁さん

テーマ②「エンディングノートの書き方」

光明寺住職 小林 尚樹

※参加者には、エンディングノートを1冊プ
レゼントいたします。ぜひご参加ください。